

東日本高速道路株式会社 北海道支社
支社長 長内 和彦

質問書に対する回答

(工事名) 道央自動車道 ママチ川橋床版取替工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回答
1	特記仕様書19頁 19-2 建設副産物の活用等について、コンクリート塊（有筋）は撤去材置き場で小割し、再資源化施設へ搬出とあります。撤去材置き場の位置をご教示ください。	特記仕様書P20 19-3(2)に記載のとおり、再資源化（最終処分）をする施設の受入条件として小割が必要となっていることから、小割を行う場所として撤去材置き場と記載しています。撤去材置き場については御社にて準備願います。
2	参考図 図面（59/60）の工程表では、既設床版撤去工及びPC床版架設工は、通常3枚程度と考えますが、1日当り6枚及び12枚になっています。1パーティー当り1日6枚の設定で施工を考えているのでしょうか。	参考図 図面（59/60）の工程表に記載のとおり、夜間にコア削孔や床版切断作業を実施し、昼間に既設床版撤去・新設床版を設置する計画としています。したがって、昼間1パーティーと夜間1パーティーの組合せで1日6枚の施工を考えています。
3	既設床版撤去工及びPC床版架設工について、1パーティー当り1日6枚の設定で施工を考えている場合、作業員数は通常の2倍以上で設定しているのでしょうか。ご教授願います。	上記のとおり1日当り6枚の施工については、昼間1パーティーと夜間1パーティーの組合せとなります。
4	特記仕様書31頁 26-5 既設床版撤去工 既設床版撤去 床版A及び床版Bについて、試料の作成は112試料とありますが、8（箇所/径間）×8（径間）×2（上面、下面）=128試料ではないでしょうか。	そのとおりです。後日訂正公告を行います。
5	路面切削工について特記仕様書P38 26-8-2 路面切削工(2)種別に土工部擦り付け部平均8.5cmの深さまで切削すると記載されていますが、図面番号205及び206の数量表では切削深さ7.5cmで計算さ	特記仕様書P38 26-8-2 路面切削工(2)種別に記載の「土工部擦り付け部平均8.5cmの深さまで切削する」とは、図面番号205及び206に記載している新設舗装面からの深さを示しています。

	れています。どちらが正解なのでしょうか。ご教示願います。	図面番号 205 及び 206 の数量表に記載されている切削深さ 7.5 cmについて既設舗装面からの深さとなります。
6	特記仕様書 49 頁、(8)安全対策 剥離剤用安全衛生保護具費について、橋梁架設工事の積算（令和 3 年度版）では 1 日当たり 4 個に改訂されています。現場状況により協議の対象と考えてよろしいでしょうか。	特記仕様書 26-10-1(8)に記載のとおり、剥離剤用環境対策資機材及び剥離剤用安全衛生保護具については、当初想定した数量から著しく変更が生じた場合は監督員と受注者とで協議し定めることになります。
7	特記仕様書 49 頁、(8)安全対策 剥離剤用安全衛生保護具費の化学防護長靴とは、シューズカバーとしているのでしょうか。長靴本体としているのでしょうか。ご教授願います。	保護長靴もしくはシューズカバーのどちらかを計上願います。